

令和5年度第2回三鷹市農業公園運営懇談会会議録

開催日時 令和5年9月28日（木曜日）午後6時30分から午後8時00分まで

開催場所 三鷹市教育センター3階 大研修室

傍聴者 なし

出席者 11人（欠席：5人）

次第

1 座長あいさつ

2 議題

(1) 三鷹市農業公園20周年事業について

【事務局説明】

資料2-1～2-3を基に事務局説明

第1回懇談会后、令和6年度に実施する20周年事業について準備会を開催したため、内容を報告した。
今後の方針として、実行委員会および分科会を発足することを提案する。

(質疑・応答)

【委員】樹名板については、長く持たせるという面では丈夫なものを発注するのがよいのではないかと。いちから作成するとなると時間がかかる割に長く持たない可能性があり、費用対効果が期待できない。マルシェについては、いちご農園や焼き栗をやっている方がいるので向いているのではないかと。

【委員】マルシェについては、どういう形で進めていくか。

【委員】準備会でも話が合ったように、ある程度出店対象を絞って声をかけるのがよいと思う。

【委員】詳細については分科会で方針を決めていけばよいのではないかと。

【委員】そうすると意見はどこで伝えればよいのか。ひとつの分科会にしか加入できないのであれば意見を伝える機会がなくなる。

【事務局】今後の進め方としては、ひとりがひとつの分科会にしか加入できないという訳ではなく、興味がある分科会には誰でも参加できるという緩やかな分科会ができるというのではないかと考えている。

【委員】分科会を立ち上げて進めていくことには賛成だが、複数の分科会に参加して意見を述べるのはどうかと思う。意見を述べてしまうとまとまらない可能性があるため、傍聴のみがよいと思う。

【委員】いろんな意見を聞いて結果良い方向へ向かうことも期待できると思うが、まとまらないと難しいのか。

【委員】実際に初めてみて様子を見るのはどうか。意見を述べても、最終的な判断は分科会で決定するなど柔軟な対応はどうか。意見を述べられないというのはどうかと思う。

【委員】さきほどの意見に賛成で、担当外から意見を述べてしまうとまとまらないと思うので、傍聴だけにしたほうがよいと思う。

【委員】進捗状況の報告を兼ねて、分科会の連絡会（本会）を実行できればよいと思う。意見はその際に伝えていくのはどうか。

【委員】本会を挟みながら、調整していく。分科会はメンバーのみで開催し、本会で定期報告を行なうとするのはどうか。あまり分科会をオープンにすると、推進力がなくなってしまう。

【委員】分科会後に責任者が集まって報告をするというのではないかと。

【委員】分科会同士の連絡会があるとよいと思う。

【委員】わたしは傍聴しかできないのは、どうかと考えている。

【委員】意見を述べるだけだとまとまらないから、やりたい人は複数の分科会へ参加するのはどうか。

【委員】複数の分科会に参加してもよいということであれば問題ない。

【委員】意見を述べるからには責任をもって最後までやり遂げるということにしましょう。

【委員】分科会に参加しないのであれば、意見を述べないようにとのことでしょうか。

【委員】意見を述べて議論することも大切。ただし最終的な判断は分科会に委ねるやり方でよいと思う。

【事務局】次回の懇談会で実行委員会を発足し、方向性を調整という流れでよい。

【委員】進め方とか複数の分科会に加入できるかの話になっているが、内容は問題ないか。

【委員】「樹名板づくり」は景観形成に位置づけられているが、どちらかというと「子どもあそび」として提案した。各企画で被る部分が出てくるので、どのように進めていくのがよいのか。

【委員】各企画つながる部分が多々あるため、実行委員会である程度リンクさせたほうが良いかもしれない。

【委員】細かい話は実行委員会を立ち上げてそこで話を詰めていかないと、キリがなくなってしまう。

【委員】その実行委員会を発足するにあたり、関連する企画の委員を共有したほうがよいのではないかと、という話をしている。

【事務局】企画としては5つと認識しているため、その中で関連する企画を認識できればと思う。

【委員】開催時間としては、10時～15時くらいと考えている。それ以降は真っ暗になってしまう。各企画に要する時間が明確にならないと、全体の時間配分ができない。

【委員】「分科会をして連絡会をする」を2～3回できるとよいと思う。個々で考える時間も必要。

- 【事務局】皆さんはグループを作って順番にまわるのか、縁日のように自由にまわるのか、どちらを想定しているか。
- 【委員】グループを作るとなると、決まった時間に参加者が集まらないとできないので、自由で回るしかないのではないか。
- 【委員】開催同時に一気に人が集まったらグループがよいと思うが、そうでなければ自由でよいと思う。
- 【事務局】では、自由に興味があるブースにいくという共通認識で進める。
- 【委員】防災の炊き出しについては、青壮年部に任せてしまってよいかと思う。
- 【委員】このような事業があるのは良いことだと思う。
- 【委員】どのくらい集客できるのか。
- 【委員】10周年事業では、雨のわりには人がたくさん来たという印象。
- 【委員】周辺地区以外の市民は、このような事業を知る機会があるのか。
- 【事務局】広報には掲載する予定。
- 【委員】前は新聞にカラーで折込チラシを入れた。
- 【委員】スポーツ推進課にスポーツボランティアが100名ほどいる。その方たちの協力があれば、地域ごとに全戸配布ができるかもしれない。事業に経費をかけたいので、配布作業に経費はかけたくない。
- 【委員】今後のスケジュールとしてはどのようになるか。農業体験にしても時間はあまりない。企画が5つあるため、時間的にもあまり余裕はない。すべての企画を本当に実行するのかを含め、検討してもよいのではないか。
- 【委員】農業体験はICUに依頼しているため、あとは栽培作物をどうするかと募集をどうするのかという話。特定の学校長に個別に話をされていて好感触を得ている。
- 【事務局】市内各校へ声掛けを行うと、各校1名だとしても20名超える。学校ごとよりも広報等で募集するでよいのでは。次回の懇談会で詳細をつめて、実行委員会で現実的な話をできるとよい。次回の懇談会は、実行委員会と合同で開催したい。
- 【委員】懇談会委員はこれまでの経過を知っているの、実行委員会へ入っていただくのが望ましいのではないか。
- 【事務局】強制ではないが、実行委員へ入っていただけるとありがたい。懇談会委員以外で実行委員会の加入を想定しているのはICUの先生と青壮年部。
- 【委員】農業体験指導者も実行委員に必要なのではないか。
- 【事務局】各企画で適任の方がいれば教えていただきたい。座長・副座長に相談して、実行委員会へ入ってもらうか検討する。
- 【委員】多世代交流センターも声をかけるのか。
- 【委員】観光協会のボランティアに声をかけるのはどうか。実行委員会でも当日だけ手伝ってもらうとかもある。
- 【事務局】まずは主要メンバーで詳細をかためて、徐々に広げていかないとまとまりづらいのではないかと。とりあえず次回は、主要メンバーで実行委員会を発足して話を進めましょう。

(2) 三鷹市農業公園トイレ工事について

【事務局説明】

資料3を基に事務局説明

工事期間およびトイレが令和12月中旬～翌年3月下旬まで使用禁止となることを説明した。

- (1) 準備工 令和5年8月10日～12月中旬
- (2) 仮設工 令和5年12月中旬
- (3) 解体工事 令和5年12月中旬～下旬
- (4) トイレ工事 令和6年1月上旬～2月下旬
- (5) 外構工事 令和6年2月下旬

(質疑・応答)

【委員】トイレはウォシュレット付きか。

【事務局】確認します。(※確認の結果、ウォシュレット付きではありませんでした。)

【委員】視覚障がい者用の点字ブロックがつくのか。

【事務局】点字ブロックがつきます。

【委員】以前の話し合いで、点字ブロックは視覚障がい者にはよいが、車いす利用者にとっては段差となるのであまり好ましくないという話があったが。

【委員】1列であれば車いすの車輪の幅内なので問題ない。

3 その他

【事務局】次回の第3回運営懇談会は12月6, 7, 8日で調整。日程確定しましたら事務局より連絡します。